

起因物、事故の型：建築物、構築物 - 激突の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	業種小 コード	労働 者規 模
1	17～ 18	徒歩で帰宅途中、側溝が平行した路側帯を歩行していたが、対向より車が来たため避けようとした際、足を踏み外して切れ目のあった側溝に落ちてしまい骨折をした。	65	80209	50～ 99
1	9～ 10	宅急便の配達に伺った際に、玄関スロープが昨夜からの降雪によって凍結していることに気付かず、足を滑らせ転倒しそうになり、右手を伸ばしたところに玄関のガラス戸があり、ガラスが割れたことによりガラスの破片が手のひらにささり、切創するに至った。	34	40301	50～ 99
1	0～1	製品を荷台に積み込む作業中に、第三者が被災者の額まで降ろしていたのに気づかず、荷台から出ようとしたが、シャッターが下りていることに気が付かず、頭部を打撲した。	36	40301	10～ 29
1	11～ 12	事業所の所在地で、車庫の雨よけの不具合の状況を確認する為、塀に乗りその後、飛び降りた際に衝撃で左足の踵の骨が折れた。	53	10701	1～9
1	9～ 10	社屋建物の脇で、18?灯油入りのポリタンクを屋内に持ち運んでいた時、雪で足を滑らせ、建物のモルタル外壁に頭部を強打し、頭部を挫創・膿瘍した。	58	80209	—
1	8～9	工場内にて荷下ろし作業中に、トラックの荷台から下りた際に、車止めの上に着地した為、足を骨折してしまった。	59	40301	—
1	10～ 11	ランドリー室に脚立を取りに向かう途中、扉の枠の角に左足の小指をぶつけてしまった。	41	10109	50～ 99
		バックルーム清掃作業中に、急いで煮肉をしなければいけなくなり、牛肉をとるために冷蔵庫に入り、出て来たときに下水に左足がはまって強			10～

1	1~2	打し、その後立てなくなり、左足首、左足甲が腫れ上がって出血し、動けなくなった。	41	140201	29
2	11~12	リネンエレベーターでノース5Fから3Fへ移動をする際、エレベーターに乗ろうとした瞬間に15cmほど床が上昇し、躓き足首をひねる	74	140309	~ 999
2	5~6	弊社営業所室内において、出庫前の作業の途中、事務所に小走りで入室しようとしたところ、足がもつれて事務所入口前のコンクリート製の足場（地面との段差30cm）の角に右足を強打して負傷したものである。	48	80204	—
2	18~19	第四製造棟での作業を終えて第三製造棟分注室へ向かおうとして、第三製造棟と焼却炉の間を歩いていた際に側溝と側溝を繋ぐ蓋のない枘に気が付かず右足を落とし、脛に裂傷を負った。脛の皮膚がえぐれ、骨が幾分か見える状態だったので、病院にて裂傷部を縫合してもらった。	28	10803	30~ 49
2	16~17	当社施設内において、帰宅しようとしていた時に、職員用出入口の段差（10cm程度）に左足つま先をぶつけてしまい負傷した。	67	130201	1~9
2	12~13	店内ホールで、オーダーを厨房へ通しに戻っている時に、小走りで段差を勢いよく左足で着地した時に左ひざに痛みがはした。	54	140201	—
2	9~10	3BD山側で、ブロックを搭載受け取り作業時、ブロックの傾きが悪かったためクレーンで傾きを直そうと、センター側にクレーンを旋回させた。ある程度傾きが修正された時、ブロックの位置を固定する金物の溶接が割れ、一気にブロックが回り始め、挟まれる危険を感じ、咄嗟に2.5m下のタンクトップに飛び降り、右足踵を受傷した。	37	11501	~ 9999
3	18~19	従業員用洗面所に入った際、ドアに鍵をかけたときに鍵に右手がぶつかり、右手中指が曲がってしまった。	61	80209	100 ~ 299
3	14~15	工場内の原料冷蔵庫入口前にて、サンテナを2山同時に片づけている時に、人を避けようとしてサンテナに躓き、胸を強打した。	53	170101	50~ 99
		被災労働者がロータリー（タクシー待機場所）で客待ちをしていた際、			

3	21~22	用を足すため駅のトイレに向かっていた時、バス停の歩道の段差に左足を捕られ、左足アキレス腱断裂の負傷をした。	56	40201	1~9
3	16~17	介護老人施設1階清掃スタッフ休憩所の近くにある男子トイレのゴミを回収し、ゴミ置き場に捨てに行こうとトイレのドアを開け出ようとした時に、閉まりかけていたドアが背中に当たり、トイレと廊下（10cm程）の段差に足を取られ転倒し骨折した。	68	80209	1~9
3	12~13	ベッドメイク中、シートを取り換える際にシーツに絡まり、足元がふらつきバランスを崩し、左手首を壁に強打し受傷した。	26	150101	500 ~ 999
3	15~16	事業所内にて、サービス提供に行こうと立ち上がり、1歩踏み出した時、左側の壁の角に左足の小指を強打した。座り込んで自力で立ち上がる事ができなくなり、その後、骨折と診断される。	53	130201	300 ~ 499
4	13~14	物品をしまうため作業場冷凍庫に入った際、中に人がいることに気づかず誰かがドアを閉めてしまい、閉じこめられた。ドアの開け方が分からずパニックになり、開けようと鉄製のドアを何度か蹴ったため左足の親指の関節にひびが入った。	59	80209	100 ~ 299
4	9~10	帰港後、船より岸壁に飛び降りた時に、左膝に痛みがあった。	53	70201	10~ 29
4	11~12	当社賃貸契約の宿舎（4LDK、1軒屋）の整備作業中に、宿舎のブロック塀を乗り越え着地の際に左足を負傷した。	57	30309	10~ 29
4	13~14	マンション2階のお客様宅へ配達に行った時、普段はエレベーターを使用するが急いでいたため階段で上がろうとした際、前方の確認不足により、階段の飛び出ている踊り場部分に激突し、頭部を裂傷した。	58	40301	50~ 99
4	15~16	利用者宅を訪問し、入浴介助後の浴室清掃に取りかかるため、洗面所から浴室へと続く脱衣所に入ろうとしたところが、洗面所と脱衣所との床面にある10cm程度の高さの段差にうっかり足を打ちつけてしまい、右足親指を骨折した。	61	130201	10~ 29

4	8~9	ゴミのコンテナを両手に3個ずつ（10ヶ位）持ってトラックへ運ぶ途中、道路の段差につまずき、右足首を酷く捻った。	22	150102	500 ~ 999
4	11~12	工場内、醤油詰場作業場・2階で製品出荷用ダンボールを搬出作業中に誤って頭上の鉄製の梁に側頭部をぶつけ負傷した。現場は天井部分が低く、被災者は担当業務である配送業務からはずれて工場内での不慣れな現場での作業であった。	55	10109	10~ 29
4	13~14	食料品製造工場において、作業現場へ向かう途中、エアーシャワーの入口の自動ドアが閉まりそうになったため慌てて中に入ろうとしたところ、左足小指をドアに強くぶつけてしまった。その後も仕事を続けたが、帰宅するときに足が痛み歩けなくなった。	58	170101	50~ 99
4	13~14	作業現場へ向かう途中、エアーシャワー室に慌てて入ろうとしたところ、自動ドアに左足小指を強くぶつけてしまった。	58	10109	300 ~ 499
4	18~19	配達時、アパートへ駐車して2階の配達先へ向かう途中、左腕で荷物を持ったまま段差につまずき、右腕からアパート階段入口へぶつかり右腕を負傷した。	48	40301	30~ 49
4	16~17	当社倉庫内において、飼料袋（500kg）をフォークリフトで車に積む作業中、倉庫内の横棧上に載って積込の補助をしていた時、横棧から当該袋の上に飛び降りた際（高さ約1m）にバランスを崩し、パレット上に落下して（高さ約1m）、背骨を負傷した。	42	40301	10~ 29
5	13~14	本社敷地内に設置してあるコンテナ出入り口にて現場工具等の整理及び準備中に扉が閉まりかけたため、慌てて右手で扉を押えつけたところ右手小指をぶつけた。	30	30301	10~ 29
5	11~12	大きい寸動鍋でソース作りをしている時、鍋を持って急ぎ足で厨房内を移動したため、下水を流す排水溝の蓋を踏んで蓋がずれて外れ、排水溝に左足が落ちた。	37	140201	10~ 29

5	8~9	集配センターの玄関において、荷物をセンター内に運んでいたところ、足元の靴に躓き体勢を崩し、配達物の入ったケースを持ったまま左側の棚にぶつかり左手甲及び小指を負傷した。	55	110101	500 ~ 999
5	14~ 15	下校時、校庭に集合している学級の児童に忘れ物を届けようと、児童昇降口から走り出ようとした際、閉まっているガラス扉が開いていると勘違いし、ガラス面に激突して転倒し、腰を痛めた。	58	170209	30~ 49
5	19~ 20	宅配センター受付カウンターにおいて、宅急便で発送する商品を、お客様から受付けて梱包場へ移動しようとして商品をビニール袋にまとめるためにしゃがんだ時に、梱包場出入口の柱の角に左膝をぶつけた。	44	50101	100 ~ 299
5	17~ 18	デイサービスの利用者を自宅に送るため送迎車後方の車椅子用スロープを操作していた際、スロープのエッジに右足の脛をぶつけ、裂傷を負った。	50	130201	10~ 29
5	15~ 16	入口脇付近において、オープンテラス席の設営中、近くに装飾してあった地引網に木製扉が引っ掛かってしまい、それを外そうとしたはずみで右手の甲を扉に強打し骨折した。	28	140201	1~9
5	12~ 13	被災労働者は、配達先センターで積み込み作業が完了したため、プラットフォームから地面に移動しようとし、地上差1.2mの高さから前方に飛び降りて左足を負傷した。	59	40301	50~ 99
5	4~5	道路から配達先の玄関までの段差で足が躓き、左小指を骨折した。	62	80205	10~ 29
5	14~ 15	当社ゴルフ場内クラブハウス南側斜面にて草刈作業中、刈り払った草をブロワーで集草していたが、熊手での作業に切り替えようとブロワーを背からおろした際、バランスを崩したためその状態で1m強位の高さから飛び降りたところ、排水路の縁石の凸部分の上に左足から着地してしまっ左足踵を負傷した。	64	140301	30~ 49
5	12~ 13	営業活動のため歩行中、移動時間を有効利用しようと住宅地図に書き込みをしながら相当なスピードで歩いていた時に、前方不注意により歩道	40	170209	10~ 29

		のガードレールに右太腿を強打してしまった。			
5	13～ 14	ホテルの客室の清掃作業中、誤って、戸当たりに左足を強打し負傷した。	42	140101	10～ 29
5	16～ 17	就業先1階作業場から、軽四車両へ向かう際に発着場の階段を使わずに発着から飛び降りようとし、発着の台車止めに右足先を引っ掛け、地面へ右膝より転落し強打した。	42	110101	300 ～ 499
5	12～ 13	トラックの荷台から降りる際に駐車場の輪留めの上に乗る、足を捻り負傷した。	50	40301	100 ～ 299
5	11～ 12	倉庫において、組んでいる棚に乗るため近くにあったトラックから登ろうとしたところ、バランスを崩して地面に飛び下り、両足の足首と甲を計5ヶ所骨折した。（棚の高さ2.5m、トラックの一番高い所2.3～2.5m、トラックと棚の間50cm程度）	25	30199	10～ 29
5	7～8	病院内で清掃作業の移動中に部屋のドアを開けたところ、開けたドアが急に再び閉まり、左目に直撃した。左目の周りに少量の出血と内出血が見られ、腫れがひどくなった。	56	150101	500 ～ 999
5	11～ 12	学校給食の配送補助作業中に、配送先の小学校で食缶の配送を終了し、運搬車の後部ドアを閉める際に約80cmの段差を飛び降りた際、着地に失敗して左足首を捻挫した。	68	170101	100 ～ 299
5	11～ 12	学校給食の配送補助作業中に、配送先の小学校で食缶の配送を終了し、運搬車の後部ドアを閉める際に約80cmの段差を飛び降りた際、着地に失敗して左足首を捻挫した。	68	10109	30～ 49
5	8～9	添乗業務の宿泊先にて、当日の添乗を行うために部屋を出発するため靴を履きに移動した際、下方不注意により客室内段差に躓き、左足先を強打した。	40	170101	1～9
6	15～ 16	法面補修工事現場において、法面整形作業中に地中にあった鉄製の土留枠に気付かず踏んだ際に、左足底部を負傷した。	34	30106	1～9

6	11～ 12	当社請負先の建築現場にて、1階部分にかけた脚立の下部部分から降りる時に足がぶつかってしまい、左足を負傷した。	63	30202	1～9
6	15～ 16	事務所におけるセキュリティシステムの変更工事に際し、配線のため天井裏に入り作業中、足元の天井パネルから突き出しているビス先を避けながら中腰で前進している時に、足元に気をとられ、足場である天井パネルから高さ1.3m程にある屋根を支える鉄骨（H形鋼）に、前頭部ヘルメット下の眉間右寄りを直接強打し、負傷したものである。	34	30302	1～9
6	9～ 10	事務所の移転のため、引越作業をしていたところ、荷物を運んだ際に扉に足をぶつけて、左足の指を骨折した。	47	170209	1～9
6	14～ 15	カウンター内にて、パンの引き出しが開いている事に気付かず、右足を引き出しの下に引っかけてしまい、誤って足の甲を打ってしまった。すぐに治ると思ったが痣と痛みがあり、右足甲を骨折をしていた。	0	140201	10～ 29
6	14～ 15	H棟のコンテナから飛び降りた際に、着地先に駐車場のタイヤ止めがあり、それを踏みつける形で着地し、足首を捻った。	24	40301	30～ 49
6	16～ 17	足場事業部ヤード内で、整理中に積んである踏板の上より（h＝約1,200）飛び降りた所に物があり、右足を捻った。	29	80409	1～9
6	11～ 12	完成検査場にて、入庫車両をピット前にて、車台番号・エンジン型式を確認のため、エンジンカバーを外し、エンジンカバーを脇に置こうとした。エンジンカバーを持ち視界が不良状態であるにもかかわらず、ピットを跨ごうとして右足を踏み外し、ピットの縁に腰を強打し怪我を負った。	52	11701	10～ 29
6	11～ 12	クレーン車庫で16tクレーンを納車している時、雨が降ってきたため急いで屋内に戻ろうとし、高さ1.6mあるクレーンハウスから梯子を使わず飛び降りた際、右足のくるぶし下を負傷した。	59	40301	30～ 49
6	9～ 10	走行中、エンジントラブルにより側道に停車し、発煙筒を点火しに行く時、危険行為をしていた子供を助けた時にネットに足をとられ、ネットから足を外すため強く引っ張った時、路面に強く打ちつけた。	51	40202	1～9

6	14~ 15	事務所内トイレにて休憩中、トイレから出ようとした際に開けたドアに足を強打し、右足薬指と小指を骨折した。	62	80209	10~ 29
6	14~ 15	ホームからトラックの荷台に乗り込む際、隙間に足を落とし負傷した。	37	40301	100 ~ 299
6	13~ 14	店舗裏にあるプレハブ冷凍庫に食材を取りに行き、出ようとした際に扉の裏の非常用の赤色の取っ手に胸部を強く打ち、負傷した。	65	140201	30~ 49
6	8~9	個人宅の浄化槽の清掃中、浄化槽の蓋を洗い、横に置いて立ち上がった時、家の壁の雨戸下の角（この部分はコンクリート造り）に頭をぶつけ負傷した。	52	150103	10~ 29
7	13~14	トラックで納品の際、荷降しが、おわり荷台より降りる時バックヤードの段差につまずき、右足第5中足骨にひびが入った。	30	40301	50~ 99
7	13~14	清掃するために洗い場の通路のフタを開けていたところ、本人が気づかず片足がはまって体を打ったもの。その後職場復帰した。	63	140201	1~9
7	13~14	お客様宅へ配達を終わらせ、雨で濡れた団地の階段を下り残り2段のところから前へ左足が滑り、その時膝をつき身体がよじれ壁に背中を強打した。当初は足が痛かったが、夕方になり身体全体が痛くなってきた。	47	80209	100 ~ 299
7	14~15	当社の前庭で行われる抽選会用商品を、仮置きしていた本館正面階段下倉庫から搬出中、階段下の突起物に左側頭部を強く打ち負傷した。本人はヘルメットは着用していなかった。体調が思わしくなかった。	61	80209	50~ 99
7	11~12	病院内科診察室内で、認知症状のある利用者の付き添受診中、利用者右後方で介助していたところ、受診中利用者から不意に手で押され、間仕切りの柱の角に右腕をぶつける。痛みがひどかった。右腕靭帯損傷と診断をうける。	68	130201	30~ 49
7	5~6	朝刊配達中マンション内の配達を終え1階の駐車場を通過して次の配達先へ向かっていたとき、駐車場の境目の段差で足を捻って負傷した。	64	80205	10~ 29
		施設内のお客様の居室にてトイレの見守りを行っていた際、お客様がふ			30~

7	15~16	らつき倒れてきたため、身を挺して抱えた。その結果、背後の壁に腰と背中を強打し負傷。	46	130201	49
7	7~8	当社乗務員が、2トン車をホームに接車後、積込作業中、荷台上から手についてホーム下に降りた際、うまく着地できず、右足のつま先が内側に向くような形になり、転倒。診断の結果、骨折となる。	41	40301	10~ 29
7	14~15	屋外で鉄柱（ビル等の基礎）の計測作業中、暑さでふらついた際、誤って鉄柱に右足首を強打した。当時、熱中症の心配があり早退したが回復。夕方、足が腫れだし、右脛骨内果骨折と診断された。	29	170101	100 ~ 299
7	12~13	足場上部からパラペットに飛び移った際、転倒した。	63	30201	30~ 49
7	19~ 20	事業場内（ひよこ看護室入口）で哺乳瓶を片付けようとし柵を跨いで移動したところ、体勢を崩し、柵に顔を強打した。	51	130201	30~ 49
7	16~ 17	小動物処理室（けい留所）で豚（大貫）を後方から追い込み中に、豚が反転したため避けよとして、柵を飛び越えた際に、柵のカギ（フック式）の突起部分に接触し、左膝下内側を6針切創および骨にヒビが入った。	21	150105	100 ~ 299
7	11~ 12	全般清掃が終了しバキュームを洗浄台に搬出しようとしたところ、電源と洗浄台の間に右足を踏み外し受傷した。	29	150109	100 ~ 299
7	13~ 14	工場出入口にて、途中で止めてあるシャッターの下を通過する際、シャッター下部に頭部を打った。その後2週間程で頭痛などの不調が生じ、病院で検査を受けたところ、硬膜下血腫と診断され手術、入院となった。	64	10109	1~9
7	19~ 20	店内で接客および料理の提供中、客をよけるために座敷から段差をおりた際、不注意で右足を挫いてしまい、右足小指辺りを骨折した。	59	140201	10~ 29
7	5~6	右側非常駐車帯において、天井が次第に低くなっている場所で、しゃがみこんで除草作業をしていたところ、上部鉄部分（高さ150cm）に頭を強	48	150109	10~

		打（ヘルメット着用）し、メガネで鼻の上部を切り、出血及び手の痺れや痛みが発生した。			29
7	12～ 13	配達業務を終え車両に戻る際、同敷地内に隣接する住宅のベランダ（高さ約1.5m）に頭頂部を強打した。	36	40301	50～ 99
7	8～9	発着所の転落防止ステージより、運行前点検作業中に落としてしまったグリス（油）落とし、用具を拾うため近道をしようと、高さ4m程から飛び下りて、右足踵を複雑骨折した。	47	40101	10～ 29
7	8～9	会社工場内コイルパネル置場において、立て掛けてあるコイルパネル（厚さ0.8mm、幅43cm、コイル状、約1t）をクレーンを使って整理作業中、クレーン周りばかりを注視して移動していたため、足元が不注意となり、パネルの台座（三角形）上で身体のバランスを崩し、壁側に倒れ掛かったため、右手を思いっきり伸ばして阻止しようとした際、壁に強く打ちつける状態となり負傷した。	48	11209	30～ 49
7	15～ 16	鍵交換作業をしており、交換する鍵を社用車に取りに行こうとしたとき、エレベーター前にあったコンクリートの段差に気付かず、左足を強くぶつけた。	34	170209	1～9
7	6～7	店舗内販売区画作業台付近にて、接客対応時、レジ背面にある作業台大理石部分に、振り向きざまに右手小指を強打した。その際、両手には何も持っておらず、無理な動作ではなかった。人員不足の環境で慌ただしい中、周囲への安全確認不足と思われる。	37	80209	10～ 29
7	11～ 12	基礎上部にて作業員が2人1組で墨出し作業を行っており、メジャーで計測するため、被災者が後方へ後ろ向きのまま歩行しようとしたとき、足元の鉄筋に躓いてバランスを崩し、背面方向の基礎掘削機（根伐り底）へ右片足を着地した。その際、残った左足太腿裏側の差し筋（立上がった鉄筋）に接触し、鉄筋キャップが外れ、太腿に刺さり、裂傷した。原因は、当時、基礎周りの埋め戻しが完了しておらず、足元の不安定な状態で作業を行ったこと、足元周辺の確認を行わずに危険な後ろ向き移動を行ったこと、作業開始前のリスクアセスメントが徹底されてな	36	30202	1～9

		かったことが考えられる。			
7	17～ 18	当院病室にて、認知症で暴言・暴力的な行動が見られる患者さんの食事介助をしていた際、患者の口にご飯を入れた瞬間、吐き出したため、その勢いで患者の手が顔付近に来た。その際、反射的によけたが勢い余って壁に激突し、背中および腰を強打した。その10分後に痛みが強くなったため病院を受診したところ、腰・背部打撲により、1ヶ月程度の療養が必要と診断された。	46	130101	300 ～ 499
9	20～ 21	帰宅のため当社休憩所の階段を下りている際、頭上にある鉄製の梁に頭部をぶつけたため、その拍子で階段を踏み外し、床から約1メートルの高さから落下して頭部を負傷した。	15	140201	10～ 29
9	10～ 11	当施設内の清掃作業中、客室窓を閉める際、勢いよく手前に引き寄せ閉めた時、取手に左手親指を挟み爪が剥れ負傷したものである。	46	140101	30～ 49
9	11～ 12	店にて販売就業中、店内準備室を段ボールを持って歩いていたところ、掃除用の水ため場に左膝が落ちてしまい強打する。通常、当該の水ため場はふたが閉まっているが、事故当時は開放されていた。	32	170209	100 ～ 299
9	8～9	ベランダの防水工事作業をする為、足場からベランダの手すりに渡り高さ80CMから建物側に飛び降りた時転倒し、右足首をひねってしまい右足関節骨折したものである。	62	30203	1～9
9	11～ 12	給食前にトイレに入ろうとして、ドアを左へスライドし、入ろうとして左足をドアにぶつけた。しばらく様子を見ていたが、痛みが増してきて病院へ受診すると、左足薬指を骨折していたことがわかった。	53	130201	30～ 49
9	14～ 15	昼過ぎに肉を持ち上げるときに右手の甲が柱の角に当たり違和感があったが、そのまま仕事を続け、再度同じ箇所をぶつけたときに、ひどい痛みがあり、右手が動かせなくなった。	37	140201	50～ 99
9	22～ 23	閉店作業で座敷を掃除し、座布団を整えようとして、座敷に左手人差し指を打ち付けてしまった。日がたてば治ると思いそのままにしていたが痛みが引かず物がつかめないため病院へ、靭帯を痛めていた。	38	140201	10～ 29

9	19～ 20	ホール点検入口付近で振り向きざまに、柱に頭部を強打し、額を5cm程切る。	23	140101	500 ～ 999
9	16～ 17	特浴の浴室で、座浴のイスを洗い終わって壁側の所定の場所に移動する時に排水溝の鉄板に自分の足が乗り、傾いて左足の内側の足首にあたり裂傷した。	59	130201	100 ～ 299
9	13～ 14	昼食弁当配達先の事務所内に於いて、弁当回収をしていた。弁当箱を回収して台車を押していた際、慌てていた為、事務所室内で開いている扉の端にぶつかり、右足小指を負傷したもの。靴を脱いでいた為、靴下の状態でぶつかった。	34	80209	100 ～ 299
9	16～ 17	建築外溝工事現場で、土の引き慣らし作業で、一輪車にて土を運搬中、境界外側の幅30cm、深さ50cmほどの側溝に、誤って右足を踏み外し、落としてしまい、右足首を骨折した。	51	30109	1～9
9	14～ 15	当社食堂のプレハブ冷蔵庫から荷物（ダンボールに入った冷凍マグロ3kg）を持って、冷蔵庫の中から庫外へ出る際、急いでいたこともあり誤ってフリーザー密閉ハンドルの受部に右脇腹部分をぶつけてしまい、骨折したものである。	35	140201	10～ 29
9	11～ 12	保育中に絵本の箱を小走りで運んでいる時、段差の角に右足の先が当たり骨折した。	55	130201	30～ 49
9	12～ 13	訪問介護サービス中、利用者様のトイレ介助を行う時に右足がトイレの扉の角で強打し負傷した。	53	130201	10～ 29
9	7～8	店にて、ドリンクバーの氷を補充した後、オープン前で急いでいた為に周りをよく確認しなかった為、ドリンクバー横にある仕切りに右手を強く打ちつけ、右手小指を負傷した、右手小指が腫れ、痛みが治まらなかった為、勤務終了後に病院へ行ったものである。	55	140201	10～ 29
9	15～	厨房内中央の排水溝のふたを清掃のため開けている時、冷蔵庫に保冷剤を片付けるため通った、本人はふたが開いていることは知って注意をし	40	140201	10～

	16	ていたが、足が滑り、右足首が入り、しりもちをつく形になり右足を捻挫、右ひじを打撲した。			29
10	22～ 23	第3工場A25柱付近でBOX桁内溶接作業をする為、桁端ダイヤラム開口部から入り箱内に着地した際、バランスを崩し、立てリブに右足首をぶつけ右足首を捻ってしまった。	32	11209	50～ 99
10	9～ 10	厨房内にて、昼食準備中、チャンパー（冷蔵庫）に入ろうとしたところ、扉が右膝に当たりバランスを崩して転倒し受傷した。	60	140201	10～ 29
10	8～9	工事現場において、地上より2.5m程の高さにある庇の上にて、現場打ち合わせを行った際、周囲の人がハシゴを使い昇降する中、本人の判断により庇の上から2.5m下の地上に飛び降り被災した。	29	170101	1000 ～ 9999
10	16～ 17	大型トラックで配送を終えて帰社し整備棟の前に停車。トラックより降りる際につまずいてよろけ、整備棟の鉄柱に側頭部を強打し、頭部骨折した。	45	40301	50～ 99
10	14～ 15	ハロウィンイベントの備品等出しのため店に向かっていたとき、誤って歩道と車道の段差を踏み外してしまい、左足首を負傷してしまった。	30	150101	100 ～ 299
10	12～ 13	事務所内にて、認知症のご利用者様がリハビリパンツ内に排便し手も便で汚れていた。職員2名でトイレへ誘導したが、ご利用者様が便座に座らずリビングへ出ようとしたため、職員1名が見守りをしている間にオムツを取りに早足で汚物処理室へ入った際に躓き、加速のついた状態で左手を壁に強くついて手首を骨折した。	58	130201	100 ～ 299
10	11～ 12	お客様先で段差につまずき、その勢いで自動ドアに頭部と左手をぶつけ左手小指を骨折した。	63	170209	50～ 99
10	20～ 21	事務所側に近いローラー付近で荷引き作業中、ローラーの縁に右膝をぶつけて被災したもの。当日、本人から報告なく定時まで勤務した。被災者は翌日から欠勤し、弊社登録センターに勤務中に負傷したとの連絡があり詳細の聞き取りができたのが最近である。聞き取り後、事業場内で	42	50101	50～ 99

		現認したものがないか確認したが、現認者は無し。			
10	23～ 24	就業場所である店舗内（2階）で、お客様のお帰りを見送る際、急いで走った勢いで柱の角に右足を強くぶつけてしまい、右足小指を負傷した。	50	140201	10～ 29
10	4～5	場外売場駐車場において、駐車場から青果市場内へ向かっていた際、前方から来た車のヘッドライトが眩しくて前がよく見えず、外に設置してある二階への階段の裏側部分の角で頭をぶつけ、頭部を負傷したものである。	56	80209	30～ 49
11	9～ 10	新築工事の現場において作業中材料を取りに下りる際、階段を使わず1m下の踊り場に飛び降り勢い余って板を破壊し、3m下に落下し、負傷した。	54	30202	1～9
11	9～ 10	表面処理加工場において、点検業者が床下の点検を実施していた際、床下に潜る為に外したグレーチングが元の位置に正しく納まっていなかった。その状態を知らずに被災者がその上を歩き、グレーチングが外れ、足を踏み外してしまった。その時、左足甲を強打し第二指付け根を骨折してしまった。一日様子を見たが痛みが治まらなかった為、翌日の受診となった。	62	11303	1000 ～ 9999
11	13～ 14	1泊2日の旅行の第1日目でバスを駐車させようと、バス乗降口のステップに立ち、右手で手すりを掴み、空いている所を探していた際、運転士が右に緩やかにハンドルをきった時、空いている場所があったため、再度ハンドルを右にきった時、右手が手すりから離れドアにぶつかり負傷した。	27	40202	100 ～ 299
11	10～ 11	旅費の精算のために行った際、誤って入口の段差で足を踏み外し、足をひねり左足を負傷した。	40	150109	50～ 99
11	9～ 10	被災者はバイクで走行中、本来のコースの一本前の道で左折しようとしてしまい、慌ててハンドルを戻したが間に合わず、道路左側の土手から転落し、右肩を負傷した。	53	150101	1～9

11	13～ 14	共同住宅において草刈作業後の刈草の片付け中、塀の上よりコンクリート通路に飛び降りた際に（高さ約1.8m）負傷（左足踵骨折）したものである。	28	60101	1～9
11	13～ 14	約束のお客様宅を退出する際の事故。靴を履くため左足を土間に下ろそうとしたところ、上がり框に指が曲がった状態でぶつけた。左足中指骨折となった。	56	90103	300 ～ 499
11	15～ 16	お客様店舗の作業終了後、搬入口のプラットホームから右足を捻った状態で着地し、全体重が乗り激痛が走った。	46	170201	100 ～ 299
11	15～ 16	新築住居の建築現場に、建築資材をトラックにて運び、荷降ろし終了後地面から露出していた排水パイプに気付かず、その上に右足を乗せてしまい、バランスを崩し、右足首を負傷した。	28	40301	10～ 29
11	11～ 12	狭い現場内で長尺ボードを納入の際、柱に右薬指を強打。少し痛みはあったが、作業に支障はなかった為、作業継続し、次の日も出勤。痛みがひどくなってきたので、その後自宅療養し、後日病院へ、骨折と診断される。	26	40301	30～ 49
11	9～ 10	KP地点付近で作業中、工具を持って走っている時に誤って路肩に足を引っ掛けて左足首を捻り負傷した。そのまま夜まで仕事を続けたが、痛みと腫れが引かず翌日病院に行き骨折が判明した。	52	11701	10～ 29
11	15～ 16	土場として使用している市有地で重機を使用して、切枝腐葉土の移動を二人で交替で行っていた。自分がこの作業を行っていない時間を利用して、道路近くまで垂れ下がった枝等の処理をしようと三点式8段脚立を側溝を跨ぐ形で安定性を確認の上立て掛けた。脚立の6、7段目に足を掛けて、手持ちノコギリで処理しようと枝をつかんだところ枝が折れ身体のバランスが保てなくなり、側溝の中に飛び下りた。側溝の中に多量の枯れ葉があり、被害を最小限にするため側溝に飛び下りた。	65	170209	50～ 99
11	15～	事業場の厨房で作業中、鍋を洗おうとして、流しに行く時、床が濡れていたため滑り、両手で鍋を持っていたため手が出ず、左脇腹を流しのふ	61	80409	1～9

	16	ちで強打した。			
11	11～ 12	トラックの荷物を積み、荷締めするのに荷物の上に上がる時に、バランスを崩したので下に飛び降りた時に負傷した。	45	40301	50～ 99
11	16～ 17	住宅新築現場で、作業終了後トイレへ行こうとした際、安全通路の前で、外装大工が作業をしていた為、邪魔をしては悪いと思い境界のブロック（約H1200）に上ってトイレへ行き戻って来た際同じようにブロックの上から飛び降りて着地した時に、バランスを崩して足をひねり負傷する。	24	30202	10～ 29
11	12～ 13	シャッターに頭を打ち、後ろに倒れ腰を強打した。	64	80209	10～ 29
12	7 ⁸	出勤して事業場内のエレベーターに乗ろうとして、エレベーターに近づいた際に前方にバランスを崩し、エレベーター脇の壁に頭を打ち当て、その反動で後方にバランスを崩して倒れてしまった。	57	130201	100 ～ 299
12	8 ⁹	モーニングケアが終わり、1階の一般浴室に消毒液（ジアノック）を入れる際に、浴室入口（廊下側）の扉に左足の指先を強く殴打した。マスクをしていて、足元の視界が見えづらい状況であった。夜勤ヘルパー業務終了間際に発生した事故であり、痛みが強い為、タクシーにて休日診療可能な病院へ行き、救急外来を受診し、レントゲン検査の結果、左足薬指基節骨骨折であった。	52	130201	30～ 49
12	19 ²⁰	開店直後で少し立て込んで来たので、手洗場から急いでホールに戻ろうとした時、バランスがくずれて右側の壁に右足を強くぶつけ、右足小指に強い痛みが出た。氷で冷やしていたが治まらない為に病院へ行った。	19	140201	10～ 29
12	7 ⁸	ごみ置場においてごみ収集の作業中、足元のコンクリート段差を乗り越えようとした際、足が引っ掛かり、左足膝下をコンクリートの角で負傷した。	29	150103	10～ 29
12	15 ¹⁶	自社の資材・車両置き場にて、土場の大掃除中に、高所の物置を片づけたあと、脚立で降りるときに足がもつれ、地面に飛び降りたときに負傷	39	30199	1～9

した。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html